

ニカラグア定期報告（2022年7月）

【要旨】

内政面では、野党所属の市長を更迭及び市役所を占拠するなど、11月の地方選挙に向けたと見られる政権の動きがあった。また、19日にはサンディニスタ革命43周年記念式典が華々しく開催された。外交面では、中国との自由貿易協定（FTA）締結に向けた早期収穫（アーリーハーベスト）協定が締結された。また、ロドリゲス新駐ニカラグア米国大使へのアグレマンを撤回するなど、米国への対決姿勢が顕となった。

【主な出来事】

1 内政

（1）野党所属の市長更迭並びに市役所占拠

ア 2日、地上振興庁（INIFOM）は、サンタ・マリア・デ・パンタスマ市のガデア市長が所属する、野党「自由のための市民たち（C×L）」党が法的地位を有していないとして同市長を更迭した。

イ 4日、国家警察及び準軍組織は、ヒノテガ県エル・クア市、同県サン・セバスティアン・デ・ジャリ市、ヌエバ・セゴビア県ムラ市、リオ・サンフアン県エル・アルメンドロ市の4市役所を上記アと同様の理由で占拠した。

（2）サンディニスタ革命43周年記念式典

ア 19日、マナグア市内革命広場において、43周年目のサンディニスタ革命記念式典が実施された。同式典には、オルテガ大統領、ムリージョ副大統領を始めとするニカラグア政府高官の他、ラルフ・ゴンザルベス・セントビンセント及びグレナディーン諸島首相兼外相など、外国からの来賓および当地外交団などが出席した。

イ 式典中、オルテガ大統領は、ゴンザルベス同首相兼外相に対し、叙勲最高位であるアウグスト・サンディーノ叙勲を授与した。

（3）7月26日までの当国における新型コロナウイルスを巡る情勢は以下のとおり。

ア 保健省（MINSA）レポート

7月26日、MINSAは同日時点の国内感染状況について19日から26日までの週間レポートを発表したところ、概要以下のとおり（括弧内は前回数値）。

- ・新規感染者数：42名（36名）
- ・累計感染者数：14,807名（14,777名）
- ・新規死亡者数：1名（1名）
- ・累計死亡者数：247名
- ・累計治癒者数：14,520名（14,468名）

イ ワクチン供与

- (ア) 3日、ラトビアよりファイザー社製ワクチン849, 420回分が供与された。
- (イ) 7日、フィンランドより欧州連合(EU)を通じてファイザー社製ワクチン400, 320回分が供与された。
- (ウ) 9日、米国よりCOVAXファシリティを通じてファイザー社製ワクチン(小児用)650, 600回分が供与された。

2 外交

(1) 中国との早期収穫(アーリーハーベスト)協定締結

11日、ニカラグア政府は中国とアーリーハーベスト協定の締結、及び経済・貿易・投資協力における共同委員会設立に関する覚書に署名した。これにより、ニカラグアは以下の品目を関税ゼロで輸出入することになる。

- ・輸出：牛肉、海産物、エビ、ロブスター、ナマコ、野菜、赤インゲン豆、ピーナッツ、ラム酒、衣料繊維、ワイヤーハーネス
- ・輸入：植物や花、ニンニク、トウモロコシ、イワシ、マグロ、菓子類、パスタ、パン類、魚食品、殺虫・除草剤、プラスチック製品、タイヤ、繊維原料、玩具

(2) 駐コスタリカ・ニカラグア大使の解任

13日、ニカラグア政府は、ドゥイリオ・エルナンデス・アビレス駐コスタリカ・ニカラグア大使を解任し、ヴァルドラック・ジェンスケ元外務次官を同臨時代理大使(公使参事官)に任命した。

(3) ニカラグア検事及び裁判官の米エンゲルリスト追加

20日、米国政府は、選挙等において民主的なプロセスや制度を弱体化させたとして、新たにニカラグア人検事及び裁判官23名をエンゲルリスト(注：汚職関係者と反民主主義者のリスト)に追加した。これにより対象者及び家族の米国ビザの発給を制限または撤回し、米国への渡航を禁止等する。

(4) 砂糖の年間輸入枠からニカラグアを除外

21日、バイデン米大統領は、2023年の国外からの砂糖輸入に関し、WTOルールの下で認められている年間輸入割当枠からニカラグアを除外すると決定した。

(5) 駐ニカラグア・スペイン大使の任命

27日、ピラル・マリア・テレン・ララナ新駐ニカラグア・スペイン大使が着任し、モンカダ外相に信任状の写し等を手交した。なお、前スペイン大使は、両国関係の悪化を背景として、約1年以上にも亘り当地不在となっていたもの。

(6) ロドリゲス新駐ニカラグア米国大使へのアグレマン撤回

28日、オルテガ政権は、駐ニカラグア米国大使に任命されていたウゴ・ロドリゲス氏の米上院外交委員会における発言が内政干渉的であり儀礼を欠いたものであるとして、同新大使に対するアグレマンを撤回する書簡を発出した。

3 経済

(1) 税収額の増加

2022年第一四半期の税収額は400億コルドバ（11億1,341万米ドル）となり、前年同期比20.5%増（331億8,950万コルドバ：9億2,384万米ドル）となった。

(2) 社会保険庁（INS）の75%赤字解消

6日、財務省（MHCP）は、社会保険庁（INS）の財政赤字が2億340万コルドバ（566万米ドル）となり、昨年同月比74.6%減（8億340万コルドバ：2,362万米ドル）となったと発表した。

(3) 国際金融機関からの融資

ア 中米統合銀行（BCIE）

12日、ニカラグア国会は、石油価格上昇への対応策としてBCIEから200億米ドルの融資を受けることを承認した。

イ 世界銀行

18日、ニカラグア国会は、世界銀行より、コロナウイルス感染症対策にかかる1億1600万米ドルの融資を受けることを承認した。

(4) 対外債務の発表

23日、ニカラグア中央銀行（BCN）は、公共セクターと民間セクターを併せた対外債務の合計が1兆4481億万米ドルに達したと発表した。

<主要経済指標>

| | 2020年 | 2021年 | 2022年 | | |
|---------------|-------|--------|--------|--------|-------|
| | 5月 | 5月 | 4月 | 5月 | 6月 |
| インフレ率（対前年同月） | 0.49% | 1.51% | 4.05% | 4.73% | 5.26% |
| 貿易収支（百万ドル） | ▲76.0 | ▲170.6 | ▲214.1 | ▲190.4 | 未発表 |
| 輸出FOB（百万ドル） | 239.9 | 311.3 | 359.1 | 396.5 | 未発表 |
| 輸入FOB（百万ドル） | 316.0 | 481.9 | 572.8 | 586.9 | 未発表 |
| 海外送金受取額（百万ドル） | 159.2 | 187.1 | 233.9 | 266.0 | 未発表 |

2022年7月
在ニカラグア日本大使館

| | | | | | |
|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 外貨準備高（百万ドル/期末） | 3,211.9 | 3,623.9 | 4,320.7 | 4,354.3 | 4,348.4 |
|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））